

## 第 680 回 例 会

28年6月17日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 東 健三 会員  
「国際大会報告 ほか」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

## 次回(6月24日)のプログラム

- ・2015～2016年度 ゴング引渡し式  
時間 18:30 ～  
場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

## 先週(6月10日)の例会報告

## ■会長の時間

馬場雅也さま、ようこそ。

東さん、韓国での年次総会おみやげ、ありがとうございます。

今日は職業奉仕に関わる内容で、私が独立開業してからのこの5年を振り返って見たいと思います。

ちょうど5年前にソニー生命から代理店として独立開業しました。多くの株主、支援者とお客様のお陰で、なんとかこれまでやって来る事が出来ました。最初は二人でスタートして、現在は私を入れて五名に増えました。そのなかには長女も入っています。東京の息子が一人前となって、将来会社を率いてもらいたいとは思っていますが、まだこの先どうなるかはわかりません。

保険会社はソニー生命一社からスタートして、東京海上、三井住友海上、損保ジャパンと順調に増えまして、先日は日本生命からもお誘いを頂きましたが、生保はソニー一社だけのとの約束事があり、丁重にお断りしたところです。

業績の方はお陰さまで、前期で立ち上がりからの累積損失を、一掃する事が出来ました。

一方、順調なことばかりではありません。開業して一年立経たない時期に家内のガンがわかりました。幸い社員さんたちの理解と協力のお陰で、それから約三年間は家内に寄り添いながら、治療に専念する事が出来ました。また当初はM&Aにウェイトを置きすぎて、保険がお留守になりかけたり、社員さんたちがなかなか定着しなかったり、その他にもまだまだ課題山積です。

そうした中で6年目を迎え、大阪も徐々にではありますが、社員さんに任せられるようになってきました。いずれ体力がついたらと温めていましたが、そんな恵まれた状態を期待するのではなく、ここは一步踏み出して年内を目処に東京営業所を出す決めました。現在ヒトとハコの絞りこみに取りかかっています。

6月でロータリーの会長職も終わりますが、例会出席と奉仕の理想を念頭に、事業経営、地域と社会への貢献、家庭生活を着実に積み重ねていきたいと考えています。

ありがとうございます。

## 【来客紹介】 1名

## 【出席報告】

28年6月10日(第679回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
34名	1名	21名	12名	63.64%

## 【幹事報告】

[メールBOXに配布]

1)第12回理事会報告・第3回準備理事会報告 2)次年度年間プログラム 3)名簿確認のお願い

[回覧資料] 1)東京麹町RCよりエンド・ポリオ複製版「想い出草」

## ニコニコ箱(6月10日)

秋山 千尋 =ゴング引渡し式まであとわずか。残り 会長・幹事さん頑張って下さい。

福島 三雄 =暑いですね。体調管理に気をつけましょう。豊島さんの卓話、楽しみにしています。

花谷 尚嗣 =昨日はパティスミス(69才)のライブとフジコヘミング(83才)のコンサートの2本、観て来ました。素晴らしい!

川上 大雄 =熊本に行ってきました。どエライことになってました! 支援もこれからですね~。

菊 泰仁 =出張の為、2連続で欠席、ゴング引渡し式も出席出来ませんが、先乙です。

小林 知義 =今日はゲストとして馬場雅也さんに来て頂きました。入会していただけるかどうかは、今日の雰囲気次第です。

楽しい例会を期待しています。

中根三恵子 =今日は特別に暑いですね!

高野 幸雄 =梅雨入りしたようですが...暑いですね!

玉置 栄一 =昨日、石川県の七尾市に日帰り出張、人口減少が財政に深刻な影響を及ぼしています。

## 卓話

## 「オバマが広島に来て」 豊島 秀郎 会員

アメリカ大統領のオバマが、5月27日、広島に来ました。マスコミは歴史的な日と言っていました。そこで、今日は、自己紹介を兼ねて、広島についてお話しします。

私は、昭和28年、島根県松江市で生まれました。昭和30年か31年、広島市に移りました。私はもちろん、私の家族は被爆していません。幼稚園、小、中、高校時代を広島で過ごしています。小学校から高校まで、広大附属小、中、高校と同じ学校で12年間過ごしました。県下随一の進学校であるとともに、サッカーを校技としている学校でした。長沼健先輩など、戦後の日本サッカーに重要な役割を果たした先輩が大勢いました。私も、そこで、勉強とサッカーをしていました。

広島は、原爆に遭い、70年間、草木も生えないと言われたそうです。実際、被爆で苦しんでいる方々も大勢おられます。しかし、私が育った時、広島は快適な町でした。広島の町は、原爆に遭ったこともあり、戦後、整然と作り直され、きれいな町です。大統領訪問を伝えるテレビのアナウンサーが、「川と緑に囲まれた地、広島」と何度も言っていました。広島は、狭い旧市内に7本の川が流れ、川が占める面積が大きな町です。私の子供の頃は、川沿いには原爆スラムといわれた違法建築物が建っていました。昭和3・40年代、それを立ち退かせ、跡地を公園にしてから、広島の町は、見違えるほど、緑が多くきれいな町になりました。

食べ物もおいしく、その意味でも快適な町だと思います。サッカー、野球とスポーツも盛んです。カーブも、サンフレッチェもあります。

では、私が育った時、原爆の陰が全くなかったかという、そうでもありません。

私は、小さい頃、市内の比治山という、標高70m位の小さな山の近くに住んでいました。幼い時の遊び場で、中学校当時は、その坂道でよくトレーニングをしていました。そこに、ABCCという施設がありました。当時は、米軍が、被爆の影響を長期間に渡って研究している施設と聞いていました。子供心に怖い処と思い、近づかないようにしていました。この施設は、今でも、存在し、ネットで情報が出てきます。

広大附属は、昭和30年代の後半まで、広大の構内にあり、爆心地から2キロに位置していました。そのこともあり、先生や先輩には被爆経験のある方々がたくさんおられました。小学校の名簿では、一学年全員死亡の記載があったと思います。

広大附属時代は、大勢の先生方のお世話になりましたが、私は、中でも2人の先生を尊敬していました。中学2・3年の担任の三浦先生と、サッカー部の監督であった福原先生でした。お二人とも被爆していました。

三浦先生は、鹿児島に実家があり、広大附属中・高を卒業され、私の先輩でした。私は結婚式の仲人もしてもらいました。ご本人からは余り原爆のことを聞いていません。後で、奥様から聞いたところでは、中学時代に学校で被爆したとのことでした。中学校は木造の校舎でしたが、たまたまトイレに居て、一命を取りとめた、周囲の悲惨な状況に驚愕し、鹿児島の実家に逃げ帰ったことに負い目を感じて、余り原爆のことを話さないようだったとのことでした。

福原先生は、広島一中、現在の国泰寺高校の出身で、東京教育大に進み、日本代表にもなり、広島サッカー界全体の指導者でした。30歳代後半で、胃がんで亡くなっています。私は、先生が亡くなった時点(高校1年終了時)でサッカーを辞めています。先生が亡くしなければ、私の高校生活も違ったものとなったと思います。

先生が亡くなった時、サッカーマガジンという雑誌に、「広島サッカー界の父死す。」との題目の追悼記事があり、その中で当時の東京教育大のサッカー部監督が追悼記事を書いていました。その記事によると、福原先生は、試合の時、必ず、小袋をゴール脇に置いていたようで、仲間は不思議に思っていたようです。後々判ったことでは、先生は原爆の影響で心臓に欠陥があり、そのことが原因で無様な試合をした時には死ぬ覚悟で、青酸カリを小袋に忍ばせていたとのことでした。本人からはそのようなことは一切聞いていませんが、東京教育大サッカー部監督の追悼記事ですから、嘘でもないだろうと思いました。私は、福原先生が早死をした原因は被爆にあると思っています。

私は、快適な学生生活を送り、広島の町も活気にあふれていましたが、その反面、このように原爆の陰があったことも事実です。

ところで、私にとっては、平和公園は慰霊の場と言うよりも、時々、行って遊ぶ場所でした。小学校から近く、小学校時代は頻繁に行きました。そこに、アメリカの大統領が来たわけですから、私としては、「私の昔の遊び場に、アメリカの大統領が来ている。」と不思議な感覚で、テレビを見ていました。